



企業インタビュー Vol.1

interview

株式会社 田村製作所

代表取締役 田村 咲子 様

Company Profile



▲ 代表取締役 田村 咲子 様 (左)、田村 萌奈 様 (右) とルナちゃん
取引振興課が作成する「千葉県中小製造業ガイドブック」とともに
写真撮影にご協力いただきました。

技術×人材×支援

苦難を乗り越え「信頼」を勝ち取った経営戦略に迫る

01 株式会社田村製作所について

創業以来、55年培ってきた鋳物加工技術と品質

事業内容について、お聞かせいただけますか？

当社は、産業用機械の部品加工を行っています。具体的には廃棄物のリサイクル用機器や破砕機等で、それら部品の金属加工・製造（シャフト・フランジ・Vプーリ・軸受ほか）です。多種多様な加工に対応しており、図面があれば材料調達から加工・検査・出荷まで一貫して行える点が特徴です。

他社に敬遠されがちな鋳物や高精度加工品も得意としているそうですね。

アルミ鋳物や鉄鋳物（FC、FCD）などを取り扱っています。鋳物加工は先代の時から積極的に取り組んでいて、今では当社の製品の50%程度を占めているんですよ。



▲ ヤマザキマザック株のSLANT TURN500
加工サイズはΦ910×2000Lまで対応

NC旋盤や三次元測定機を完備しているため、±0.001mm単位の精度が求められる難易度の高い加工も可能で、長さは2000mmまで対応しています。

図面どおりの精度を維持するための検査・測定は徹底しています。機械を操作する社員全員が精密測定技術について講習を受け、修了証書を授与されています。これによってさらなる正確性の向上と省力化が実現できました。

また、納期も重視しています。納品物について、その後船便で運ばれるという話を以前聞いたことがあって、それまでは納期が遅れても多少の余裕はあるのかと聞いていたんです。でも船便ではそうはいかない。だから工程管理には細心の注意を払っています。



02 廃業の危機と田村社長の決断

「このままじゃ終われねえ」工場長が放った一言

経営面で苦勞されたことはありますか？

そもそも会社を継ぐ意識はありませんでした。男性社会なので父もやらせたくないという思いがあったのではと思います。当時は採用にも苦勞し、こんなに募集しても人が来ないのだったら、と一度は廃業すら考えました。でもその時に工場長が「このままじゃ終われねえ」って言ったんです。もうその一言で、何とかしなきゃいけないなと思って。

当時の工場は本当に汚くて、子どもの就職先としてここを見せられたらどれだけ落胆するだろうと親の立場になって想像してみました。それで、まずは中をきれいにする事から始めて「こんなマシンを使ってみたい」と思ってもらえるよう、補助金を活用して機械も新しくしました。イチかバチかの賭け。



▲「本当に汚くてすごかった」という工場
現在は整然としており、5Sが徹底されていました



▲ 地元高校出身の社員が活躍

地元の高校にもしつこくしつこく通いましたね。今どきのように金髪もネイルもOK。一生懸命やってくれば何でもOKにして。そうしたら職場見学に来たいという連絡があったんです。

女性社長の割合が低い業界ですが、その点はいかがでしょう？

逆に視点の違いを活かせると感じていて、社員が働きやすい環境づくりを意識しています。現場の整理整頓や職場環境の改善は品質や安全性の向上につながることも多いですね。汚くなるのはすぐだし、怪我に結びついてしまうので。

03 人材育成の工夫

少数精鋭だから出来ること

人材育成ではどのような点を工夫されているのですか？

未経験者に対してはベテランがマンツーマンで簡単なものから教えていきます。指示待ちにならないよう現場で話し合って**工程カード**も作りました。また毎週娘が受注一覧のリストを作成するんです。工程ごとに担当者の名前が入っているので、誰かが忘れていても次の人が「今どうなってる？」って話し合える。納期を守るため、朝礼と昼休み明けには各自の進捗状況も確認します。

こういったサポートもあって、社員一人ひとりが「自分の仕事に誇りを持ち、最後まで責任を持つ」という姿勢を大切にしています。それが当社の強みです。

インスタグラムでは御社のアットホームな様子も窺えますね。

仕事中は真剣ですが休憩中は笑い声が絶えません。社員の誕生日会やBBQなどのイベントを企画しコミュニケーションを図る時間も頻繁に作っているので、誰かが困っていると自然に声を掛け合える職場です。



▲ オリジナル色分け工程カード
外国の方も勤務しているため、ひらがな・英語が併記されています



04 (公財) 千葉県産業振興センターの支援 企業マッチングで社内の意識も向上

千葉県産業振興センターのどのような支援を活用しましたか？

外注先の廃業をきっかけに、取引振興課が実施している定期情報配信 受発注情報サービスを利用し、**新規受発注先の開拓を行いました**。また、発注企業1社に対して受注企業を広く募集する**ビジネスマッチング商談会**や、一度に多種多様の発注・受注企業と商談ができる**広域商談会**で受注先の拡大を図りました。

各種商談会で、取引が増加したと伺っています。

はい、**商談会**をきっかけに拡大した受注先から継続して取引をいただいています。

マッチングの際は、当社の技術や設備、加工機械の特性までセンターの方がしっかりと調べてくださり、丁寧に企業同士をつないでくださいました。そのおかげで、私たち自身も「この範囲の仕事しかできない」と思っていた殻を破ることができ、**社員も自発的に挑戦をするようになりました**。

マッチングを通じて、社員の方々のスキルアップにもつながったということですね。

そうですね。社員の意識も前向きになり、新しい取り組みに挑戦する姿勢が社内に根付いたと思います。

取引振興課の支援サービス

01

個別あっせん

受発注案件内容に基づき該当する企業を登録企業から**選定・紹介**します。

02

各種商談会

発注企業1社に対して受注企業を募集する**ビジネスマッチング商談会**と複数の県内外発注企業が合同で行う**広域商談会**があります。

03

定期情報誌
(受発注情報サービス)

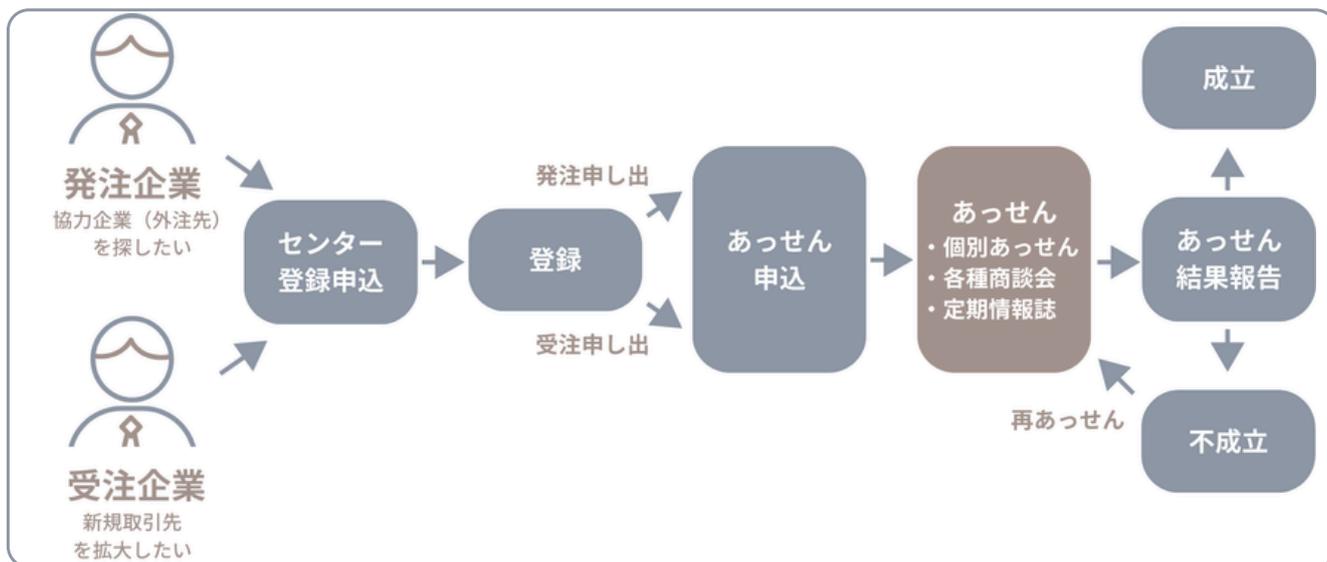
受発注等に関する情報を取りまとめて掲載。センターにご登録いただいている企業の皆様に**毎月配信中**。

04

千葉県中小製造業
ガイドブック

センター登録**受注企業**の情報を加工区分ごとに掲載。新規取引先の開拓にご活用いただけます。
(1P写真に掲載)

支援サービスご利用までの流れ



企業様からのコメント

「千葉県中小製造業ガイドブック」を活用しています。
各種商談会は、年に数回行われるので自社に合った時期に参加することができます。



05 千葉県内の中小企業へメッセージ

最後に、県内中小企業の皆様へ向けたメッセージがあればお願いいたします。

千葉県には素晴らしい技術を持つ中小企業がたくさんあります。お互いに刺激し合いながら、地域のものづくりを盛り上げていけたらと思います。

田村社長、ここまでありがとうございました！



▲ インスタグラムもぜひご覧ください

千葉県産業振興センターコメント

取引あっせん支援をご利用いただいていた田村社長。ヒアリングを通じて、自社HPの運用に課題があることがわかりました。そこで、専門家から助言を受けられる「専門家派遣制度」をご提案。田村製作所様の良さがもっと伝わるHPを目指して支援を実施予定です。

Company Profile

名称	株式会社田村製作所
創業年月	昭和44年10月
代表者名	田村 咲子
所在地	千葉県八街市滝台606-1
業種	製造業（はん用機械器具製造業）
保有設備	NC旋盤、マシニングセンタ、三次元測定機他
HP	http://www.kk-tamura.co.jp



(株)田村製作所
代表取締役 田村咲子様

家庭菜園で育てたきゅうりは、社員みんなで食べています。休日は、4歳の孫とのお出かけが息抜きになっています♪



instagram



HP

Contact

本記事に関するお問い合わせ・県内企業支援についてはコチラから

公益財団法人 千葉県産業振興センター

千葉県産業振興センターは、千葉県や国の中小企業振興施策の実施機関として、中小企業などが抱える売上拡大、技術開発、取引拡大、生産性向上、事業承継、人材採用などの様々な課題解決に対して、豊富な支援メニューでサポートします。お気軽にお問い合わせください。

※千葉県産業振興センターは千葉県商工労働部所管の外郭団体です。



HP

記事の内容に関するお問い合わせ先

総務企画部 企画調整課

千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト23F

☎ 043-299-2901

✉ info@ccjc-net.or.jp

支援（取引あっせん）に関するお問い合わせ先

戦略事業推進部 取引振興課

千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト18F

☎ 043-299-2654

✉ sinko@ccjc-net.or.jp